



横浜市立恩田小学校 学校だより 6月号

発行 令和2年6月1日

自分のために
みんなのために



新たな生活・学習スタイル

校長 古屋 澄人

6月1日、ようやく子どもの声が学校に戻ってきました。保護者の皆様には一斉臨時休業期間中の子どもたちの健康面、学習面でのご協力をいただきありがとうございました。学校再開にあたって、6月1日からの2週間は、子どもたちが学校生活に慣れることを最優先として焦ることなく学校再開のスタートプログラムを進めていきたいと思っております。

5月25日に「感染防止の取組」「学習のルール」をお知らせしました。学校再開後は子どもたちの心のケアについても進めていきます。長い休業期間を経ての登校による子どもたちの精神的な負担も予想されます。子どもたちの不安を少しでも取り除くことができるよう昇降口に「あんしんステーション」を設置し登校時の様子を見守ります。また、「安心・安全アンケート（学校再開版）」を実施し、担任・児童支援専任が中心となって子どもたちの声に耳を傾けていきます。

しかしながら、学校再開を待ちに待った子どもたちの学びを止めるわけにはいきません。子どもたちは新たな知識や技能を得たいという欲求をもち、それらを伝えたり、見せたいという思いをもっています。関心があることには自ら進んで取り組み、粘り強く課題に向かい合う姿は容易に想像できます。むしろそのような子どもの姿こそ本来の学ぶ姿であると考えます。「新しい学習スタイル」のもと、近い距離で話しあうことを避けながら、絵や文字で表現して伝え合うなど「かくこと」を中心にして子どもたちの考えを広げたり深めたりしていきます。

日本赤十字社は「ウイルスの次にやってくるもの」を動画配信しています。新型コロナウイルスの側面として「病気」「不安」「差別」を指摘しています。私たち大人から新型コロナウイルスの差別や偏見に対する認識を高める必要があると感じました。誰でも不安な気持ちをもっていることを前提に、お互いに励まし応援し合い、温かい雰囲気をつくることできるように指導していきたいと思っております。

学校だよりに新型コロナウイルス感染症対策のための「保護者様へのお願い」を掲載しました。子どもたちの登校の際は、「日々の検温」「健康観察票の提出」「マスクの着用」等のご協力をお願いいたします。日本全国、学校再開の進め方は様々ですが、恩田小スタイルを大切に6月を過ごしたいと思っております。